



取扱説明書



LD18W41S

ご使用の前に

- ご使用の際は、必ず本書をよくお読みください。
- 本書は、不明な貞をいつでも解決できるように、すぐに取り出して見られる場所 に保管してください。

安全にお使いいただくために

本書および製品には、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財 産への損害を未然に防止するために絵表示が使われています。

その表示と意味は次のとおりです。内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性 注意 が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示し ています。

障害や事故の発生を防止するための禁止事項の内容を表しています。



製品の取り扱いにおいて、してはいけない行為(禁止行為)を示しています。

障害や事故の発生を防止するための指示事項の内容を表しています。

必ず行う事項(指示、行為)を示しています。 電源プラグをコンセントから必ず抜くことを示しています。 アース端子を必ず接地(アース)して使用することを示しています。

	▲ 警 昨
	交流100V以外の電源は使用しないでください。 交流100V以外の電源を使うと、感電・火災の原因となります。
	ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。 感電の原因となります。
	雷が鳴りだしたら、電源プラグをさわらないでください。 感電の原因となります。
0	 電源プラグを取り扱う際は、次の点を守ってください。 取り扱いを誤ると、火災の原因となります。 ・電源プラグはホコリなどの異物が付着したまま差し込まない。 ・電源プラグは刃の根元まで確実に差し込む。 ・電源プラグを長期間コンセントに差したままにしない。 電源プラグは、定期的にコンセントから抜いて、刃の根元や刃と刃の間を清掃してください。
\mathbf{O}	電源コートのたこ定配線はしないでくたさい。 発熱し、火災の原因となります。 家庭用電源コンセント(交流100V)から電源を直接取ってください。
	 破損した電源コードを使用しないでください。 感電・火災の原因となります。 電源コードを取り扱う際は、次の点を守ってください。 ・電源コードを加工しない。 ・無理に曲げたり、ねじったり、引っぱったりしない。 ・電源コードの上に重いものを載せない。 ・発熱器具の近くに配線しない。 電源コードが破損したら、カスタマーサービスセンターにご相談ください。 カスタマーサービスセンターへの連絡方法は、『サポート・サービスのご案内(ディスプレイ用)』をご覧ください。
	本機から異臭や異音がする、発煙するなど、異常状態のまま使用し ないでください。 感電・火災の原因となります。 すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、カスタ マーサービスセンターまでご連絡ください。 カスタマーサービスセンターへの連絡方法は、『サポート・サービ スのご案内(ディスプレイ用)』をご覧ください。 お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。

▲警告					
	Ⅰ風孔など開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し ムんだり、落としたりしないでください。 देव・火災の原因となります。				
	水などの液体や異物が本機内部に入った場合は、そのまま使用し ないでください。 感電・火災の原因となります。 すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、カスタ マーサービスセンターまでご連絡ください。 カスタマーサービスセンターへの連絡方法は、『サポート・サービ スのご案内(ディスプレイ用)』をご覧ください。				
	本機の分解や改造はしないでください。 けがや感電・火災の原因となります。				
ļ	電源プラグのアース端子を接地(アース)してください。 感電の危険があります。 アースは必ず、電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってくだ さい。 また、アースを外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜い た後に行ってください。				
\bigcirc	アース端子は、絶対にガス管に接続しないでください。 火災の原因となります。				
\bigcirc	アース端子をコンセントに挿入または接触させないでください。 感電の危険があります。				

⚠注意				
	小さなお子様の手の届く場所に設置、保管しないでください。 落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。			
$\bigcirc $	不安定な場所(ぐらついた台の上や傾いた所など)に置かないでく ださい。 落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。			
	湿気やホコリの多い場所に置かないでください。 感電・火災の危険があります。			
	本機の通風孔をふさがないでください。 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の危険があります。 設置する際は、次の点を守ってください。 ・押し入れや本箱など風通しの悪い場所には設置しない。 ・毛布やテーブルクロスのような布をかけない。			
	各種コード(ケーブル)は、本書で指示されている以外の配線をし ないでください。 配線を誤ると、火災の危険があります。			
	液晶ディスプレイが破損して、内部の液体が漏れた場合は、液体を なめたり、さわったりしないでください。 火傷や化学物質による被害の原因となります。 万一、液体が皮膚に付着したり、目に入ったりした場合は流水で十 分に洗い、医師に相談してください。			
0	本機を移動する場合は、電源を切り、本機からすべての配線を取り 外してください。			
0:5	連休や旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため電 源プラグをコンセントから抜いてください。 			
	本機を廃棄する場合は、法律に従って正しく処理してください。			

本書中の表記について7
添付品の確認
本機の特長9
各部の名称と働き10
本機前面10
本機背面11
使用時の確認事項12
コンピューターと接続する13
設置における注意13
各種コード(ケーブル)接続時の注意
接続方法14
画面の角度を調整する19
セキュリティーロックスロットを利用する19
電源の入れ方 / 切り方20
電源を入れる20
電源を切る20
本機の省電力機能21
表示する22
解像度を変更する22
自動調節(アナログ接続時)22
2 台のコンピューターの画面を切り替えて表示する 23
OSD メニューで調整する24
OSD メニューの内容26
OSD 画面の詳細
メインメニューの詳細27
色温度の詳細28
システムの詳細28
お手入れ29
外装
液晶パネル部分29
収納するときは
困ったときは
修理を依頼する前に33
機能仕様一覧
プリセットタイミング(アナログ接続時)

▶本書中の表記について

本書では次のような記号を使用しています。

安全に関する記号



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡また は重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負 う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定 される内容を示しています。

一般情報に関する記号

制限	
ſIJ	
P	
12	

制限事項です。

機能または操作上の制限事項を記載しています。

本書とは別のマニュアルを示します。

例)『サポート・サービスのご案内(ディスプレイ用)』:本書と は別に添付されている『サポート・サービスのご案内(ディ スプレイ用)』を示します。

参照先を示します。

操作手順です。

ある目的の作業を行うために、番号に従って操作します。

18.5型ワイド液晶ディスプレイ(以降、本機)には、ディスプレイ本体のほかに、次の添付品が同梱されています。すべて揃っていることを 確認してください。

万一、不足や不良がございましたら、『サポート・サービスのご案内 (ディスプレイ用)』をご覧になり、担当窓口へご連絡ください。

梱包箱や梱包材は、輸送時などに備えて保管しておいてください。



□ LCD ユニット(ディスプレイ本体)



 VGA ケーブル VGAケーブルは、LCDユニットに接続した状態で 同梱されています。



🗌 DVI-Dケーブル



🗌 オーディオケーブル



 スタンドベース
 『サポート・サービスの ご案内(ディスプレイ用)』





□ スタントネック
 □ 取扱説明書(本書)

本機の特長は次のとおりです。

① 表示

18.5型ワイド液晶パネル(カラーTFT)搭載で、解像度は最大1360 × 768(WXGA)、色数は約1677万色表示に対応しています。

② インターフェース

アナログ、デジタルのコネクターを装備し、コンピューターの画像 出力に応じた接続ができます。

③ デュアル接続

2つのコネクターを利用して、本機に2台のコンピューターを接続 できます。接続したコンピューターの画面は、調整ボタン1を押し、 入力信号(アナログまたはデジタル)を切り替えて表示します。

④ サウンド機能

コンピューターと接続して、本機のスピーカーからコンピュー ターの音声を出力することができます。

⑤ 調整機能(OSDメニュー)

On-Screen-Display(以降、OSD)のメニューにより、本機の様々な 調整ができます。

⑥ 省電力機能

コンピューターからの入力信号がない場合、自動的にスタンバイ 状態に移行して消費電力を抑えます。

⑦ DDC2B (Display Data Channel)

本機はDDC2Bに準拠しています。そのため、本機とコンピュー ターを接続するだけで、本機の解像度やリフレッシュレートなど の情報がコンピューターに読み込まれ、最適な表示をすることが できます。

▶各部の名称と働き

本機前面



① 液晶パネル

本機に入力された信号をもとに、文字や画 像などを表示します。

② 電源表示ランプ

本機の動作状態をランプの色で表示しま す。

ランプ表示	本機の状態		
青色点灯	通常動作		
オレンジ色点灯	スタンバイ時		
消 灯	電源切断時		

- ③ 調整ボタン1
 - 入力信号(アナログとデジタル)の切り 替えを行います。
 ア p.23「2台のコンピューターの画面 を切り替えて表示する」

メニュー画面の終了などにも使用します。

 ・アナログ接続時に長押し(2秒以上)すると 自動調節を行います。
 ア p.22「自動調節(アナログ接続時)」 ④ 調整ボタン2

OSDメニューの表示や調整などを行います。
 ア p.24「OSDメニューの表示と操作」

⑤ 調整ボタン3

 OSDメニューの表示や調整などを行います。

 ア p.24「OSDメニューの表示と操作」

- ⑥ 調整ボタン4
 OSDメニューの表示や調整などを行います。
 ⑦ p.24「OSDメニューの表示と操作」
- 電源スイッチ
 本機の電源の入/切を行います。

本機背面



① 通風孔

ディスプレイ内部で発生する熱を排出した り、外気を取り入れたりします。

② セキュリティーロックスロット 成

市販の盗難抑止ケーブル(ワイヤー)を接続 します。

③ スピーカー

オーディオケーブルで接続したコンピュー ⑦ VGAコネクター D-SUB ターの音声を出力します。

④ 電源コネクター POWER

電源コードを接続して電気を供給します。

(5) ライン入力コネクター AUDIO

コンピューターのライン出力コネクターと 接続して音声を取り込みます。

⑥ DVI-Dコネクター DVI

コンピューターのDVI-Dコネクター、また はDVI-Iコネクターと、DVI-Dケーブルで接 続して画像を表示します。

コンピューターのVGAコネクターと、VGA ケーブルで接続して画像を表示します。

本機をお使いになる前に、下記の確認事項を必ずお読みください。 また、p.2「安全にお使いいただくために」も必ずお読みください。

●液晶パネルは、表示する条件により斑点や色むらが目立つ場合があります。また、液晶パネルは非常に高い精度で作られていますが、ごくわずかに画素抜けや常時点灯する画素が存在する場合があります。いずれの場合も、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

参考

液晶パネルのドット抜け基準値

本機の液晶パネルのドット*抜け基準値は、5個以下です。これ は、全ドットの0.00016%以下に相当します。

*「ドット」は副画素(サブピクセル)を指します。液晶パネルでは、 1個の画素がRGBの3個の副画素で構成されています。

本機の場合は、3,147,264個の副画素があります。本書に記載しているドット抜け基準値は、ISO13406-2に従って、副画素単位で計算しています。

市販のアーム取り付け時の注意

●本機には、VESA 規格に準拠した市販のアームを取り付けることが できます。

取り付ける際のネジは、[M4×10mm]のものをご使用ください。

▶コンピューターと接続する

本機を使用できる状態にするために、スタンドを取り付けて、コン ピューターと接続する手順について説明します。

設置における注意



各種コード(ケーブル)接続時の注意

\bigwedge	● ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
 警告	感電の原因となります。
	● 電源コードのたこ足配線はしないでください。
	発熱し、火災の原因となります。
	家庭用電源コンセント(交流100V)から電源を直接取ってくだ
	さい。
	● 電源プラグを取り扱う際は、次の点を守ってください。
	取り扱いを誤ると、火災の原因となります。
	・ 電源プラグはホコリなどの異物が付着したまま差し込まない。
	 ・電源プラグは刃の根元まで確実に差し込む。



各種コード(ケーブル)は、本書で指示されている以外の配線をし ないでください。

配線を誤ると、火災の危険があります。

本機の設置とコンピューターとの接続は、次の手順で行います。 接続するコンピューターのマニュアルも合わせてご覧ください。 接続は、本機およびコンピューターの電源を切った状態で行ってください。

下図のとおり、スタンドベースにスタンドネックをセットし、スタンドを組み立てます。



2 設置場所(机などの丈夫で水平な台の上)に、組み立てたスタンドを 置き、LCDユニットをスタンドにセットします。

スタンドとLCDユニットの前後を確認し、スタンドの突起部と LCDユニットの接続部を合わせてLCDユニットを差し込みます。



LCDユニットは、スタンド背面側のストッパーがLCDユニット背 面の穴にしっかりと固定されるまで、しっかりと差し込んでください。

3 接続するコンピューターの出力コネクターを確認し、接続方法を選択します。

コンピューター側が次の出力コネクターを装備している場合に、本 機と接続できます。

コンピューターの出力コネクター	接続方法	対応ケーブル
<pre></pre>	デジタル接続	DVI-Dケーブル
[]]]] <vgaコネクター></vgaコネクター>	アナログ接続	VGAケーブル

デジタル接続とアナログ接続では、デジタル接続がより鮮明な画像 を表示します。

4 選択した接続方法で本機とコンピューターを接続します。

本機のコネクターにプラグを差し込んだら、プラグ両側のネジを回 して、しっかり固定します。



5 本機のスピーカーを使用する場合は、オーディオケーブルで本機と コンピューターを接続します。

オーディオケーブルで、本機のライン入力コネクター(AUDIO)と コンピューター側のライン出力コネクターを接続します。





電源コードを、本機の電源コネクター(POWER)に接続します。



7 電源コードを電源コンセントに接続します。

電源コードのアース線は、必ずアース端子に接続してください。



これでコンピューターとの接続は完了です。

本機では画面の角度を調整することができます。

前方に約5°後方に約15°まで角度を調整できます。



セキュリティーロックスロットを利用する

盗難抑止用ケーブルを、本機につなぐことができます。

セキュリティーロックスロットに市販の盗難抑止用ケーブル(ワイ ヤー)を取り付けます。



▶電源の入れ方/切り方

本機の電源の入れ方、切り方と省電力機能について説明します。コン ピューターの電源の入れ方、切り方は、コンピューターのマニュアル をご覧ください。

電源を入れる

電源を入れる手順は次のとおりです。

↑ 本機の電源スイッチ(①)を押して、電源を入れます。

本機の電源表示ランプがオレンジ色に点灯します。

2 コンピューターの電源を入れます。

本機の電源表示ランプが青色に変わり、画面が表示されます。

電源投入後の作業

アナログ接続で使用する場合は、はじめて表示した際に表示画面の自 動調節を行ってください。

/ ア p.22 「自動調節(アナログ接続時)」

電源を切る

電源を切る手順は次のとおりです。

コンピューターの電源を切ります。

画面表示が消え、本機の電源表示ランプがオレンジ色に変わります。

2 本機の電源スイッチ(①)を押して、電源を切ります。

本機の電源表示ランプが消灯します。

本機の省電力機能

コンピューターの電源が切れていたり、コンピューター側の省電力機 能が働いていたりして、コンピューターから本機への入力信号がない 場合は、本機は自動的にスタンバイ(画面表示をしない)状態になりま す。

本機の各動作状態における消費電力と電源表示ランプの状態は次のとおりです。

動作状態	消費電力	電源表示ランプ	
通常動作時	最大25W	青色に点灯	
スタンバイ時 (入力信号なし)	2W以下	オレンジ色に点灯 画面表示は消えます	
電源オフ時	1W以下	消灯	

コンピューターによる省電力機能の詳細は、コンピューターのマニュ アルをご覧ください。 本機とコンピューターを接続するだけで、本機の解像度やリフレッ シュレートなどの情報がコンピューターに読み込まれ、最適な表示を することができます。

解像度を変更する

本機の最大解像度は、1360×768(WXGA)です。 解像度の変更は、接続しているコンピューターで行います。 ア コンピューターのマニュアル

次の解像度を設定している場合は、本機のOSDメニューで最大解像 度に変更することができます。

- $\cdot 800 \times 600$
- $\cdot 1024 \times 768$

/ ⑦ p.24「OSDメニューで調整する」

/ ア p.27 「メインメニューの詳細」

自動調節(アナログ接続時)

「自動調節」とは、画面表示を自動で最適な状態に調整する機能です。 本機を購入後、はじめてアナログ接続で使用する場合や、アナログ接 続のコンピューターを取り替えた場合などに行ってください。 デジタル接続の場合は必要ありません。

自動調節では、次の項目を調整しています。

・クロック ・フェーズ ・水平位置 ・垂直位置

自動調節時の確認事項

自動調節は、次の状態で行ってください。

- ・本機の電源を入れて30分経過後(動作が安定します)。
- ・Windowsデスクトップ画面などを表示した状態。



デスクトップ画面の背景が黒色の場合は、自動調節を行っても正常に調整されないことがあります。黒色以外の背景を使用して調整を行ってください。

自動調節を行う

自動調節の方法は、次の2つです。

● 調整ボタン1を長押し(2秒以上)する



● 調整ボタン 2 から 4 のいずれかを押して OSD 画面を表示し、
 AUTO アイコンの位置のボタン(調整ボタン1)を押す



/ ⑦ p.24 「OSD画面の表示」

2台のコンピューターの画面を切り替えて表示する

アナログ、デジタルの各コネクターにそれぞれコンピューターを接続 (デュアル接続)することができます。 接続した2台のコンピューターの画面は、アナログ接続とデジタル接 続の画面を切り替えることで表示できます。 入力画面の切り替えは、次の手順で行います。

-] 調整ボタン1を押します。
- 2 「入力信号の選択」画面が表示されたら、くまたは>アイコンの位置の調整ボタンを押しデジタルかアナログを選択します。

入力信号の選択			
.			
アナ	アナログ (D-SUB)		
ĒXIT	ок >		
,			

3 OK の位置の調整ボタン(調整ボタン3)を押します。

画面が切り替わり、「入力信号の選択」画面が消えます。

▶OSDメニューで調整する

画面の明るさやスピーカー音量などに関する設定は、OSDメニュー で行います。 OSDメニューで設定できる項目の詳細は、次をご覧ください。 ア.26「OSDメニューの内容」

OSDメニューの表示と操作

OSDメニューの表示や設定には、調整ボタンを使用します。各画面の 操作は、画面上のアイコンの位置にある調整ボタンで行います。

● OSD画面の表示

調整ボタン2·3·4のどれかのボタンを押すとOSD画面が表示され ます。

EPSON					
					ڻ ن
		。 調整ボタン	2	· 3 · 4	
	AUTO		9	4 1	



- ・ 画面に表示されるアイコンの位置にある調整ボタンを押して、 設定内容を選びます。
- 操作せずに、そのまま 5 秒間放置すると、OSD 画面は終了します。
- ※ デジタル接続時は、AUTOではなく、料Tアイコンが表示され、画面の終了ができます。

● メインメニュー画面の操作

OSD画面の IPP アイコン位置のボタン(調整ボタン3)を押すとメ インメニューが表示されます。



<メインメニュー画面>

- · OK アイコンで、選択した項目を決定します。
- ・ 型「アイコンで画面を終了します。
 (操作せずに30秒経過した場合も、画面が終了します。)

● 調整画面の操作



<調整画面>

- · ➡、 アイコンで値を調整します。
- · OK アイコンで、調整した値を決定して、前の画面に戻ります。
- ∧アイコンで、調整を反映せずに、前の画面に戻ります。
- ・ 操作せずに30秒経過すると、調整した値を決定して、画面が終了 します。

● 音量の調整

OSDメニューが表示されていない状態で調整ボタン4を押すか、 OSD画面の◀)))アイコン位置のボタン(調整ボタン4)を押すと音 量の調整画面が表示されます。



<音量の調整画面>

- ・ ▲、 アイコンで値を調整します。
- ・ **OK** アイコンで、調整した値を決定して、画面を終了します。 (操作せずに30秒経過した場合も、同様に終了します。)
- ・ 🖾 アイコンで、調整を反映せずに、画面を終了します。

▶OSDメニューの内容

OSDメニューの各画面とその詳細を記載します。 表示される項目の数は、入力信号(デジタルまたはアナログ)や設定し ている解像度によって異なります。

OSD画面の詳細

OSD画面の各項目を説明します。

※デジタル接続時は、AUTOの項目がなく、代わりにExitが表示され、 画面を終了できます。

項目	内容
AUTO	アナログ接続時に自動調節を行います。
メインメニュー	メインメニューには8つの項目があります。 <i>「</i> ア p.27「メインメニューの詳細」
音量	音量の調整画面が表示されます。 操作方法は次をご覧ください。 ⑦ p.26「音量の調整」

メインメニューの詳細

メインメニューの8つの項目を説明します。 ※最大解像度(1360×768)に設定している場合は、ディスプレイサイ ズの項目が表示されません。

項目	内容	
ブライトネス	調整画面が表示されます。画面の明るさ(輝 度)を調整します。	
コントラスト	調整画面が表示されます。画面のコントラス ト(明暗比)を調整します。	
入力信号の選択	「入力信号の選択」画面が表示されます。 く 、 ▶でアナログまたはデジタルを選択し、 OKで決定します。	
OSDメニューの言語	「OSDメニューの言語」画面の く、> で日 本語または英語を選択し、 OK で決定します。	
ディスプレイサイズ	 「ディスプレイサイズ」画面が表示され、 、 でネイティブまたは最大解像度(1360×768)を選択できます。 次の解像度を設定している場合に項目が表示されます。 * 800×600 * 1024×768 ※接続するコンピューターによっては、上記以外の解像度でも本項目が表示される場合があります。 	
色温度	 「色温度」画面には、次の5つの項目があります。 → で移動し、OK で選択します。 ・ユーザー/赤 ・ユーザー/緑 ・ユーザー/赤 ・WARM ・COOL 初期値は、ユーザー/赤、緑、青です。 各項目の詳細は次をご覧ください。 ① p.28「色温度の詳細」 	
システム	 「システム」画面には、次の5つの項目があります。 ★ で移動し、OK で選択します。 ・クロック・フェーズ・水平位置・ ・垂直位置・情報 ※デジタル接続時は、情報の項目のみ表示されます。 各項目の詳細は、次をご覧ください。 ⑦ p.28「システムの詳細」 	
リコール	OKで、すべての設定を初期値に戻します。	

画面の操作方法は、次をご覧ください。

ア p.24「OSDメニューの表示と操作」

色温度の5つの項目の詳細を説明します。

項目	内容	
ユーザー/赤	調整画面が表示されます。画面の赤色を調整 します。	
ユーザー/緑	調整画面が表示されます。画面の緑色を調整 します。	
ユーザー/青	調整画面が表示されます。画面の青色を調整 します。	
WARM	昼光色に近い自然な色調にします。	
COOL	昼光色より青みがかった色調にします。	

画面の操作方法は、次をご覧ください。

ア p.24「OSDメニューの表示と操作」

システムの詳細

システムの5つの項目の詳細を説明します。

※デジタル接続時は、1つの項目(情報)のみ表示されます。

項目	内容	
クロック	調整画面が表示されます。表示画面に縦縞状 のノイズが入っている場合に調整します。	
フェーズ	調整画面が表示されます。表示画面ににじみ やちらつきがある場合に調整します。	
水平位置	調整画面が表示されます。表示画面の上下位 置を調整します。	
垂直位置	調整画面が表示されます。表示画面の左右位 置を調整します。	
情報	画面の解像度と入力信号(アナログかデジタ ル)の情報が表示されます。	

画面の操作方法は、次をご覧ください。

ア p.24「OSDメニューの表示と操作」

本機のお手入れ方法について説明します。

外装

本機の外装の汚れやホコリは、水で薄めた中性洗剤を染み込ませた柔 らかい布をよく絞って、軽く拭き取ってください。



●本機を叩いたり、硬いものでこすったりしないでください。
 変形やキズ、破損の原因となります。
 ● ベンジン、シンナーなどの溶剤を使わないでください。
 変色や変形の可能性があります。

液晶パネル部分

液晶パネル部分は傷つきやすいため、液晶パネルについた汚れやホコ リは、乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。水や洗剤などは 使わないでください。 本機を梱包箱に収納するときは、本体からスタンド(ベースとスタンド ネック)を外してください。

この作業は、ケーブル類をすべて取り外してから行ってください。

本機の前面側を下にして、図のように机の上に倒します。

LCD画面を傷つけないよう、机の上に薄い布などを敷いておいて ください。



2 スタンドを外します。

LCDユニットのネック部分にあるストッパーを押した状態で、ス タンドを少しずつ引き抜きます。



- **3** スタンドをスタンドベースとスタンドネックに分解します。
 - (1)底面上下2個のフックを内側に押した状態でスタンドベースを 底面側にずらし、スタンドベースの固定を外します。



(2)スタンドからスタンドネックを引き抜きます。



困ったときの確認事項と対処方法を説明します。不具合が発生した場 合、参考にしてください。 下記の対処を行っても改善されない場合は、『サポート・サービスのご 案内(ディスプレイ用)』をご覧になり、テクニカルセンターまでご連 絡ください。

現象
画面に何も表示されない。

- 確認と対処 本機の電源が入っている(電源表示ランプが点灯している)かどう か確認してください。
 - 電源コード、接続ケーブルなどが、正しく接続されているか確認 してください。
 - コンピューターの電源が入っているか確認してください。
 - アナログ接続時は、コンピューターの信号タイミングが本機の仕様にあっているか確認してください。

⑦ p.35「プリセットタイミング(アナログ接続時)」

電源表示ランプがオレンジ色に点灯している場合は、本機がスタンバイ状態に入っています。コンピューターのキーボードやマウスなどを操作してみてください。

現象 画面がちらついたり、乱れたりする。

- - アナログ接続時は、自動調節を行ってください。

 ア.22「自動調節(アナログ接続時)」
 - お使いのコンピューターがリフレッシュレートを変更できる機種の場合は、周波数を変更してみてください。ただし、設定できない解像度とリフレッシュレートの組み合わせがあります。
 コンピューターのマニュアル

修理を依頼する前に

修理を依頼する前に、p.32 「困ったときは」およびお使いのコンピュー ターのマニュアルをご確認ください。

それでも問題が解決できない場合は、『サポート・サービスのご案内 (ディスプレイ用)』をご覧になり、カスタマーサービスセンターへご 連絡ください。修理の受付を行います。

製造番号の確認

ご連絡いただく前に、本機背面に貼られているシールで本機の「製造 番号」を確認しておいてください。修理受付の際に、本機の「製造番号」 をおたずねすることがあります。

シールの位置は、次のとおりです。



サイズ		18.5型ワイド	
パネル方式		カラーTFT	
画素ピッチ		0.300mm×0.300mm	
最大解像度		1360×768(WXGA)	
最大表示色		約1677万色	
同期周波数	アナログ	水平:30-80kHz/垂直:55-75Hz	
	デジタル	水平:30-70kHz/垂直:59-61Hz	
最大輝度		300cd/m ²	
コントラスト比		1000:1	
応答速度		約5ms	
視野角		水平:170°/垂直:160°	
表示画面サイズ(横×縦)		約410mm×約230mm	
調整機能		OSD(On-Screen-Display)	
		自動調節、ブライトネス、コントラスト、入力信号の選択、OSD	
		メニューの言語(日本語、英語)、ディスプレイサイズ(ネイティ	
	アナログ	ブ、最大解像度)、色温度(ユーザー/赤、ユーザー/緑、ユーザー/	
		青、WARM、COOL)、システム(クロック、フェーズ、水平位置、	
調整項目		垂直位置、情報)、リコール、音量	
	デジタル	ブライトネス、コントラスト、入力信号の選択、OSDメニューの	
		言語(日本語、英語)、ディスプレイサイズ(ネイティブ、最大解像	
		度)、色温度(ユーザー/赤、ユーザー/緑、ユーザー/青、WARM、	
		COOL)、システム(情報)、リコール、音量	
入力信号	アナログ	アナログ RGB(同期:セパレート)	
入力信号	デジタル	デジタルTMDS(DVI 1.0準拠)	
入力濃子	アナログ	ミニ D-sub 15ピン	
	デジタル	DVI-D 24 ピン(HDCP対応)	
ライン入力コネクター		ステレオミニジャック	
スピーカー		1.0W + 1.0W	
入力電源		$AC100V \pm 10\% $ 50/60Hz	
消費電力		25W(最大)/2W(スタンバイ時)/1W(電源オフ時)	
温湿度条件		温度:10~35℃ 湿度:20~80%(結露しないこと)	
外形寸法		約440(幅)×約354(高さ)×約200(奥行)mm	
質量		本体のみ:約3.5kg	
プラグアンドプレイ		VESA DDC 2B	
パワーセーブ		VESA DPMS/DVI DMPM準拠	

プリセットタイミング(アナログ接続時)

本機には、下記の信号タイミングに対応する最適な画面設定があらか じめ登録(プリセット)されています。



 ●お使いのコンピューターの解像度などを下記の信号タイミング 以外に設定したとき、正常に表示されない場合があります。

●未対応の信号タイミングが本機に入力された場合、「範囲外」と 表示され、本機はスタンバイ状態に入ります。この場合は、お使いのコンピューターに添付のマニュアルをお読みになり、リフレッシュレートを下記のいずれかの垂直周波数に設定してください。

解像度	水平周波数(kHz)	垂直周波数(Hz)
640×480	31.5	60
	37.9	72
	37.5	75
720×400	31.5	70
800×600	37.9	60
	48.1	72
	46.9	75
848×480	31.0	60
1024×768	48.4	60
	56.5	70
	60.0	75
1152×720	44.9	60
1360×768	47.7	60

MEMO

MEMO

本機を日本国外へ持ち出す場合のご注意

本機は日本国内でご使用いただくことを前提に製造・販売しております。 本機の修理・保守サービスおよび不具合などの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご 了承ください。また国外ではその国の法律または規制により、本機を使用できないこともあり ます。このような国では、本機を運用した結果、罰せられることがありますが、当社といたしま しては一切責任を負いかねますので、ご了承ください。

電波障害について

この装置は、情報装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。

有寿命部品について

液晶ディスプレイには有寿命部品が含まれています。

有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や条件により異なりますが、本製品を通常使用した場 合、1日8時間、1ヶ月で25日間のご使用で、約5年です。これは、あくまで目安であって、故障しな いことや無料修理をお約束するものではありません。なお、長時間連続使用など、ご使用の状態 によっては早期に、あるいは製品の保証期間内であっても、部品交換(有料)が必要となります。

国際エネルギースタープログラムについて



国際エネルギースタープログラムは、コンピューターをはじめとしたオ フィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。 当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として本機が 国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たし ていると判断します。

パソコン回収について



当社では、不要となったパソコンの回収・再資源化を行っています。 PCリサイクルマーク付きの当社製パソコンおよびディスプレイは、 ご家庭から廃棄する場合、無償で回収・再資源化いたします。 パソコン回収の詳細は下記ホームページをご覧ください。 http://shop.epson.jp/pcrecycle/

ご注意

- (1)本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
- (2)本書の内容および製品の仕様について、将来予告なしに変更することがあります。
- (3)本書の内容は万全を期して作成いたしましたが、万一誤り・お気付きの点がございました ら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
- (4)運用した結果の影響につきまして、(3)項にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承く ださい。

商標について

本書に記載の社名、製品名は一般にそれぞれの会社の商標または登録商標です。

©エプソンダイレクト株式会社 2009

C77567001

EPSON